

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイジー		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数)
			22人
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)
			5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して通所できる環境作り	利用者一人一人の特性に留意しながら環境を整えている	利用者にとって落ち着いて活動に集中できる環境を、利用者の状況などに応じて変えたり改善したりしていく。
2	利用者の気持ちに寄り添った支援	利用者の視点に立って支援の内容や方法を考慮し、個々の状況に合わせて支援を行っている。	利用者の興味があること、好きなこと、得意なことなどを見つけれられるようにじっくり観察し、それらを活かした支援を模索していく。
3	利用者の将来を見据えた支援	18歳になった時の姿を想像し、生活スキルや社会的マナーの向上を援助している。挨拶や返事などを習慣化できるように支援を行っている。	利用者の中には中高生もいる為、更に就労に近付けるための必要なスキルを定着させられるような支援を考え、計画的に行いたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内での活動が多く、屋外に行く機会が少ない	室内での作業や学習、創作活動などは沢山経験しているが、屋外での活動が少ない。	活動内容を振り返り、室内以外で行う色々な活動も経験できるように計画する。
2	保護者同士の交流の機会を設けていない	事業所行事として保護者が参加するものがなく、顔を合わせる機会がない。	保護者からのニーズがあるかどうかを検討していく。
3	地域交流の場が少ない	事業所内での活動が中心で地域の方々と交流する機会が持てない	安全面に考慮しながら戸外活動を行えるかどうか検討していく。